

第3回総務経済常任委員会・厚生文教常任委員会 合同委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和6年8月1日（木曜）		午前10時45分 開会			
	休憩 11:05-11:06、11:25-11:26					
	午前11時28分 閉会					
	休憩時間：0時間02分		会議時間：0時間41分			
会議場所	役場3階 委員会室					
出席委員 氏 名	委員長	中村 和宏	委 員	小笠原 等	委 員	渡辺洋一郎
	副委員長	中田智恵子	委 員	伊藤 稔	委 員	橋本 和仁
	委 員	鈴木 健充	委 員	正村紀美子	委 員	菊池 秀明
	委 員	早苗 豊	委 員	木村 淳彦		
	委 員	立川 美穂	委 員	西尾 一則		
	委 員	堀切 忠	委 員	常通 直人	議 長	梶澤 幸治
説 明 員	副町長	佐野 寿行	教育長	程野 仁		
	政策推進課長	有澤 勝昭	生涯学習課長	江崎 健一		
	課長補佐	中田 雅彦	スポーツ振興係長	梅森 祐之		
参 考 人						
欠 席 委 員 氏 名						
事務局職員	事務局長	安田 敦史	総務係長	竹川 恭史	総務係主査	上田瑞紀
<p>1 開 会</p> <p>中村委員長（厚生文教常任委員会）が開会を告げ、事務局から委員会の日程について説明をする。</p> <p>2 議 件</p> <p>（1）調査事項</p> <p>ア 全国高等学校野球大会出場に対する町の支援について 資料 1-1、1-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長：本日の調査について、手順を説明する。資料説明は一括とし、その後、資料の区分に応じて質疑を行い、最後に全体の質疑とする。異議ないか？ ・（異議なし） ・委員長：資料の説明を求める。 ・副町長：本日午後開催の臨時会議で提案予定の補正予算について、今までの経緯と今回の補正予算に関する基本的な考え方について、担当から説明する。 ・生涯学習課長：資料説明。 ・委員長：最初に「1：趣旨」及び「2：根拠について」、質疑はないか？ ・立川委員：夏休み期間のため経費がかかると言及した理由は。 ・生涯学習課長：繁忙期のため移動費や宿泊費が高額になると判断したもの。 ・立川委員：要項については過去から議会の疑義があったところだが、要項の見直し 						

に係る議論は行われたのか。

- 生涯学習課長：支援申請があった際に都度対応しており、要項改正の必要性はないと判断している。
- 立川委員：要項の存在自体の見直しも必要ないということか。
- 生涯学習課長：検討は行ったが、必要ないと判断した。
- 常通委員：要項制定の平成18年から物価が上がっている中、規定の金額を検討してはいかがか。
- 生涯学習課長：他自治体では約5千万円の支援があったことを踏まえつつも、提出された収支決算案等を精査した上で、現在の金額で妥当と判断した。
- 委員長：他にないか？
- (質疑なし)
- 委員長：次に「3：経費執行の手順と方法」及び「4：関連予算について」、質疑はないか？
- 立川委員：私立高校の全国大会出場に際して、公費を使って特別職等が応援に行くことの根拠は。
- 副町長：学校側から積極的な応援を要請されているが、公立私立に関わらず、芽室町に存在する学校の生徒が活躍していることに関しては、公務としてしっかり対応すべきだと考えている。また、他の競技についても理事者が出席すべきと判断した場合には公務として対応し、町を挙げて支援や現地に赴き応援することとしたい。
- 立川委員：過去にも野球以外の各種大会に出場しているが、その際も理事者が現地に赴いて応援するという検討はされたか。
- 副町長：情報が入り次第、理事者がどう対応するか考えている。過去の事例では、他の公務や現地の状況等を総合的に判断し、現地に赴くことはなかったが、今後も都度適切に判断をしていきたい。
- 立川委員：過去の経緯をみると、野球の応援に行くことが多いように感じる。一定の基準を設ける必要があると考えるが、今後の対応について伺う。
- 副町長：運動、文化活動にかかわらず、駆け付けるべきか他の公務の状況を考えながら総合的に判断をしてきた。今後においても、あらゆる活動について駆け付け応援することが町民の公益に資するものと判断する場合には、補正予算として提案し執行していきたい。
- (質疑なし)
- 委員長：次に「5：主な課題について」及び「6：課題への対応について」、質疑はないか？
- 立川委員：帯広市では、野球に特化せず全国大会等への出場に対して100万円を上限に補助を行っている。本町の一般会計の規模からすると300万円は多いのではという疑問が過去議会からも呈されているが、他自治体と比較し、金額についてどういった考えを持っているか。
- 生涯学習課長：帯広市の補助基準では、市内校300万円、管内市外校100万円となっている。芽室町は他市町村と比較し現行の金額としているが、今後支援の在り方を含め金額についても検討していく必要があると考えている。

- ・立川委員：他校、他競技で同様の事案が生じた場合、どのような手法で支援していくのか。
- ・副町長：高校野球に限った要項であるが、他の競技を排除しているわけではなく、内容によって総合的に判断すべきものである。今回の支援についても、要項があるから無条件に支援するわけではなく、前提に支援要請があり、内容を精査し助成を決定している。どのケースにも対応できる基準の必要性は感じるが、現状では都度判断していく考えである。
- ・立川委員：他校に町の方針は周知されているのか。
- ・副町長：教育長から各小・中学校長に周知している。町内高等学校には集まる機会に改めて周知したい。
- ・委員長：他にないか？
- ・(質疑なし)
- ・委員長：最後に全体を通して質疑はないか？
- ・立川委員：野球の全国大会出場を応援したい一方で、未だ他の競技との格差が解消されていないと感じている。町内高校生からは、なぜ野球部だけなのか、という意見もあった。高校野球に特化した要項ではなく、すべてのスポーツ、文化活動に頑張る児童生徒たちを公平に応援できるような制度に変えていく必要があると考えるが、町の見解を伺う。
- ・副町長：他自治体の事例も参考にし、研究し続けていきたいと考えている。
- ・委員長：他にないか？
- ・(質疑なし)
- ・委員長：以上で、調査事項「ア」を終了する。

- ・委員長：これより自由討議を行う。意見はないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：以上で自由討議を終了する。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日時について

- ・委員長：両常任委員長協議とする。

(2) その他

- ・委員長：各委員からないか？
- ・(なし)
- ・委員長：議長からないか？
- ・(なし)
- ・委員長：事務局からないか？
- ・(なし)

以上をもって、合同委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	1名	議員	0名	合計	1名
令和6年8月1日								
厚生文教常任委員会委員長 中村和宏								